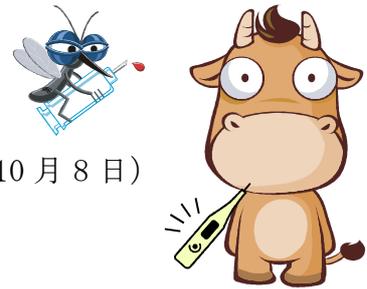


牛流行熱 にご注意ください！

沖縄県で以下のとおり **牛流行熱の発生** がありました。
本病を疑う症状を認めた場合は、家畜保健衛生所またはお近くの獣医師へご連絡ください。

<発生状況>



- 1 **発生日時** 平成24年9月18日に疑い例の通報（決定は10月8日）
- 2 **発生場所** 沖縄県石垣市
- 3 **発生規模** 肉用牛 3戸7頭（疑症125戸300頭）
- 4 **症状** 軽度な発熱、食欲不振、元気消失、1～3日の経過で回復

<牛流行熱とは>

家畜伝染病予防法に基づく **家畜の監視伝染病**(届出伝染病)に指定されています。

- 1 **原因** 牛流行熱ウイルス
- 2 **疫学** 日本、台湾、中国、韓国、インドネシア、オーストラリア、中東、アフリカ諸国の熱帯～温帯にかけて 牛や水牛に発生がみられます。
ウイルスは蚊やヌカカによって媒介されるため、発生には 季節性（主に8月～11月）があります。短期間に広範囲に流行が起こります。接触感染はありません。
発症率は一定でなく、数%～100%と幅があり、死亡率は1%以下です。
我が国では主に西日本において周期的な流行を繰り返してきました。近年では流行が限局的であり、頻度も少なく、2001年と2004年に沖縄で発生がみられましたが、九州以北では約20年間本病の発生がありません。
- 3 **症状** 発症牛では 突発的な発熱（41～42℃）がみられますが、多くはその後1～2日程度で回復します。
また、元気消失、食欲低下、呼吸促拍、流涙、流涎、四肢の関節痛や浮腫による歩行困難、起立不能、筋肉の振戦、反芻停止、乳量低下ないし泌乳停止などの症状を呈しますが、解熱に伴って回復します。
- 4 **予防** 不活化ワクチンによる予防を行います。流行が始まる前に免疫が付与されるよう、ワクチン接種を完了させておきます。

ワクチンは獣医師または中信家畜産物衛生指導協会へお問い合わせください。

